



和太鼓グループ「八鼓会」の笛や太鼓演奏で「健康まつり」スタート



楽しく笑顔があふれた子ども向けコーナー

白衣を身に着け変身

新企画「こども白衣体験」

オープニングは和太鼓で華やかに



将来は看護師さん!

は代々木健康友の会の布 施仁会長が務めました。河邊院長は、友の会とともに取り組み、健康づくりや助け合い活動、在宅や健診で地域の健康と暮らしを支えたいと語りました。柳田さんからは、相談事例をから身寄りのない高齢者が地域で孤立している実態を報告し、「地域の中で「関わり」を強める必要性、孤立する前にできることについて問題意識を提示しました。

商店街理事の岡崎さんは母親の転倒事故から体験したこと、地域での進行している高齢化問題、自らの地域での活動の経験などに触れられ、地域の中で「交わり」を持つことが「支えをつくるのでは」と提起し、あわせて代々木病院に対する期待について語りました。フロア発言では、地域包括支援センターの職員から、地域の中の取り組みとしてフレイル予防に力を入れていることや、訪問リハビリなどからも協力をしてもらっていること、今後も様々な協力をお願いしたい、という話が出されました。

司会の布施さんから「病院が健康増進に役立つために地域の方と一緒に考える良い機会となりました。」と公開討論のまとめをしました。ご来場された地域の皆様、友の会の皆様、関係者の皆様、ありがとうございました。

今回は入れ歯の患者さんによくするお話を紹介します。

①入れ歯とは...? 歯を失った部分を補う取り外し式の装置を俗にそう呼んでいます。基本、ピンクの顎に乗せる床という部分と人工の歯はレジンという合成樹脂で出来ていて、部分入れ歯の場合はそれを金属の鉤で留めています。(自



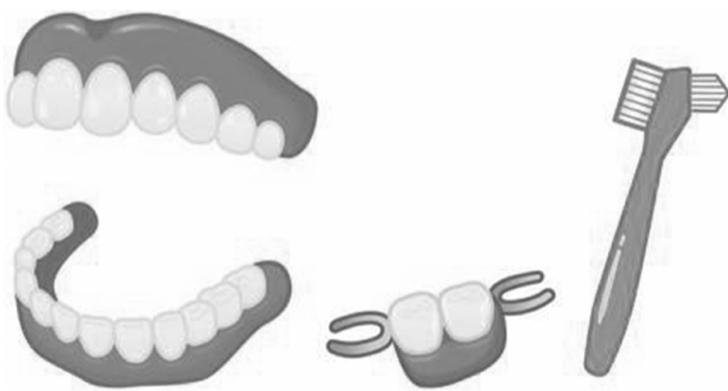
民医連

代々木歯科コーナー

連載

あなたの入れ歯の常識は非常識? その1

— その120 — 歯科医師 妹尾ゆかり



- ②入れ歯安定剤は本来不要なものです。入れ歯安定剤は入れ歯の痛みをなくしたり外れにくくしたり食べかすが入るのを防ぐためのものですね、その大半は調整や修理、新製で解決します。不潔になりやすいのでお勧めしません。
- ③入れ歯はブラシでよく洗う必要があります。洗浄剤に漬けただけや、ささっと洗っただけでは、ばい菌が取れていないことが多いです。多数歯の入れ歯の場合は入れ歯用ブラシの使用をお勧めします。
- ④入れ歯は食べる時だけ入れるものではありません。人は1日に約600回嚥下をします。平常時唾液は2〜3分に1回飲み込んでいます。大きな入
- ⑤新製してからも調整が必要です。義足をつけてすぐ走れないのと同じで使用者になじむよう調整が必要です。⑥入れ歯は一生モノではありません。人工歯はレジンなのですり減ります。数年で作り替えるのを勧めます。永く使うには修理が必要です。(番号後に続く)

サプリメントに頼らない生活



薬剤師 藤竿伊知郎 (元外苑企画商事)

(108) 機能性表示食品の安全対策



紅麴サプリメントの腎障害事件で、政府は5月31日、健康被害報告と適正製造規範(GMP)を義務づける方向で対応策をまとめた。この対策が、実現するには年単位の時間がかかる内容です。

昨年12月には、けん怠感や尿の異常で受診する人が増え、1月に専門医が企業へ情報提供をしたのに、3月22日まで公表しなかった遅れが被害を拡大しました。製品には「肝機能検査で異常のある方は医師にご相談ください」という注意が書かれていましたが、高齢者や病気を抱えているなどのリスクが高い人の利用を避けることができませんでした。

予防のために、どのような人で健康障害が起きるのか分析し、周知する必要がある。現時点は、サプリメントを利用して体調不良を感じたときは、すみやかに服用中止と受診するという自衛が必要です。

製造現場を立ち入り調査する監督官の増員も必要です。自動車製造で問題になったように、企業の勝手な解釈による不正検査を防ぐことが大切です。ジェネリック医薬品では、小林化工の異物混入の後立ち入り調査したところ、多くの不正が見つかり、数年におよぶ供給不足が起きました。

ことが必要です。製造過程で混入した青カビが注目されていますが、カビ対策には多大なコストがかかります。また、GMPに基づく製造管理では、管理対象物質と許容限度を明確にしなければならず企業の負担は多大です。

良い医療を提供するために大幅増員を「看護の日行動」へ参加



5月16日、東京医療関連協主催「看護の日行動(新橋)」に代々木病院の新人看護師9人が参加しました。集会では、看護師の慢性的な人手不足からくる過酷な労働実態に対して、夜勤制限闘争、ストライキ、ナースウェアなどの運動で制度改善をさせてきた歴史についての話を聴き、当事者が「声を上げる」ことの大切さを学びました。集会後、厚生労働省前に移動し150人の参加者とともに、医療従事者の「大幅増員」「処遇改善」の実現を訴え、アピール行動を行いました。参加した看護師から「患者さんの命や安全だけでなく、自分たちのことも大切にしながら働いていきたいと感じた」「医療従事者がもっと働きやすい環境の中で患者さんに良い医療を提供するためには行動し、政治を変えていくべきだと思った」などの感想が寄せられました。